

道徳的価値に向き合い、自分の思いや考えを深めようとする児童の育成

～ICTを活用した「児童の自己表現」と「教師の記録」を通して～

特別研修員 道徳 大河原 麻紀子(小学校教諭)

【目指す児童像】

道徳的価値に向き合い、自分の思いや考えを深めようとする児童

【手立て1】
思考や立場の可視化
思いや考えの共有

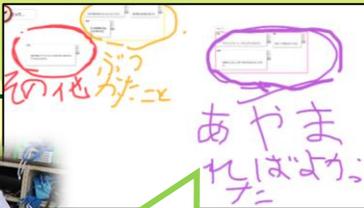
《終末》
道徳的価値について
振り返る場面

心が広い人にちょっと
ずつなってみる。
人のことを
思う人になる。



安心して本音を表出
児童と教師、
二人で共有

《展開》
話し合い・意見共有の場面



多面的・多角的な
ものの見方
グルーピング

《導入》
問題意識をもつ場面

友達をゆるすことができますか？

思考の可視化
テキストマイニング

～1単位時間の流れ～
立場の可視化
スタンプ機能

立場の可視化
スタンプ機能



終末

展開

導入



終末

展開

導入



終末

展開

導入

ICTの活用

【手立て2】教師の記録

児童の表情や姿勢の見取り
振り返りのデータ化

安心して気持ちを伝えられることで、主体的に取り組もうとする児童が増えてきた！

友達と考えを深めようとする様子が見えてきた！

見取り・分析

自分の意見をもつことで、居場所が見つけられるようだ！本音を表すにはまだ恥ずかしい！？

ワークシートに記入するより、
交流の時間を増やそう！

次の授業へ生かす

見取り・分析

表情の変化を読み取り、称賛したり励ましたりするきっかけをつかもう！

自分事として考えられるように、
授業の流れを工夫しよう！

次の授業へ生かす

見取り・分析

児童理解

表情や
姿勢を
静止画で
記録

振り返りの
データ化

表情や
姿勢を
動画で記録

ワークシート
の蓄積



【児童の実態】

- ・道徳に対する興味・関心が低い。
- ・自分事として考えること、自分の考えを表現することが難しい。

【教師の願い】

- ・児童が、楽しい！考えたい！と思える道徳の授業を展開したい。
- ・児童の、学びを深め考えようとしている内面理解を進めたい。

成果

- 思考や立場の可視化を行ったり、グルーピングで全員が参加できる話し合いを行ったりすることで、児童は生き生きと表現し、他者との関わりをもちながら自分の思いや考えを深めようとしてきている。
- 記録を蓄積し分析することで、意識や取組の変容を見取り、児童理解を深め、授業改善や評価につなげることができた。

課題

- 授業場面ごとに活用する支援ソフト等を吟味し選択する必要がある。特にテキストマイニングでは、一見マイナスイメージを抱く言葉が表出される場合があるため、事前の確認や児童への解説等適切な対処を行っていききたい。
- 蓄積した多くの記録を、効率的に整理・分析する方法を見だし、児童理解を更に深めたい。